

「胃癌取り扱い規約 第14版」(2010年改訂)では組織型分類の特殊型に内分泌細胞癌、リンパ球浸潤癌、肝様腺癌が加わった。第15版(2017年改訂)ではさらに胃底腺型腺癌が追加された。本誌では45巻12号(2010年)で特殊型胃癌を特集したが、12年後の現在、病理組織学的、あるいは内視鏡診断学的に新たな知見が得られたのだろうか。臨床医が実際に特殊型胃癌に遭遇したとき、希少病変が多い故にその取り扱いに苦慮しているであろう現状を踏まえ、診断の指針となる号たらんことを期待し、小野裕之、海崎泰治とともに本号「特殊型胃癌—組織発生と内視鏡診断」を企画した。なお、胃底腺型腺癌は本誌でもしばしば特集されており、疾患についての認知度も向上している。そこで今回は胃底腺型腺癌に関しては臨床病理学的特徴を示すにとどめた。その他の特殊型胃癌については、頻度が低いこともあり、症例が豊富なhigh-volume centerを中心に執筆を依頼した。各執筆者にはご苦勞をかけた。主題論文の一例一例が症例報告ものである。

カルチノイド腫瘍、リンパ球浸潤癌、胃底腺型腺癌の予後は良好であることは広く知られている。しかし、その他の特殊型胃癌は進行が早く、ほとんどが進行癌として発見され、予後は不良あるいは極めて不良である。このことは吉永論文において提示された腺扁平上皮癌、扁平上皮癌、未分化癌、絨毛癌、癌肉腫、浸潤性微小乳頭癌のことが多くが進行癌であることから理解されよう。

そのような現状において胎児消化管類似早期胃癌31例の病理組織像と臨床病理学的特徴を解析した八尾論文、同14例の内視鏡的特徴ならびに臨床病理学的特徴を検討した谷田貝論文は圧巻である。残念ながら谷田貝らは現時点において内視鏡所見から質的診断や深達度診断は困難であったと結論付けているが、今後の展開の道標となる論文と言える。

海崎が述べているように特殊型胃癌の臨床病理学的特徴を一言で言えば、“腫瘍細胞の充実性増殖を示す癌”，すなわち medullary carcinoma である。よって境界は明瞭で、さまざまな程度に粘膜下腫瘍(submucosal tumor; SMT)様成分を伴っている。進行すると潰瘍限局型ないしは潰瘍浸潤型を呈するものが多いが、周堤は健康粘膜に覆われる。生物学的振る舞いが侵攻性なものでは潰瘍底は一樣ではなく一段深い潰瘍を伴うなど凹凸不整の程度が激しい。発育形態をみると、早期癌の状態では0-IIc

型を呈し、癌組織の増殖に伴ってSMTの様相を呈し、癌性潰瘍が拡大すると潰瘍限局型ないしは潰瘍浸潤型を呈する。もしくは初期段階からSMTの形態を示し、癌の増大に伴い、頂部にびらん・潰瘍を有するSMT様の隆起、あるいは周堤隆起を有する潰瘍性病変を形成し、癌性潰瘍が拡大すると潰瘍限局型ないしは潰瘍浸潤型を呈する。以上が特殊型の発育形式と推測されるがいかかであろうか。

特殊型胃癌の初期像に迫るためには早期癌の段階で病理組織学的に的確な診断がなされなければならない。その補助診断に免疫組織化学染色は有力な武器となろう。八尾らや谷田貝らがESD症例において3つの胎児消化管マーカー、すなわちAFP, Glypican 3, SALL4を用いて多くの胎児消化管類似早期胃癌を発見した手法は大いに参考となる。今後他の希少特殊型胃癌において初期像が解明されることを期待したい。なお、多くの特殊型胃癌が上記特徴を有するのに対し、癌肉腫のみは特異的に隆起型を呈する。表面が“ずるむけ”で砲弾型のくびれをもった隆起型腫瘍は食道の癌肉腫に酷似する。

内視鏡診断に関して、多くの執筆者がNBI拡大観察にて特徴を見出そうと精力的に検討している。しかし、特殊型胃癌の上記特徴を考えると、NBI拡大観察のみで本当に特殊型胃癌の質的診断に迫れるのだろうか。一方、medullary carcinomaの診断において超音波内視鏡(EUS)は有力な武器となる。線維化が少ないため深達度診断の精度が高く、内部エコー像からもリンパ球浸潤癌はもとより他の特殊型胃癌においても質的診断に迫れる可能性がある。今後の研究を待ちたい。

今回、編集後記を書くにあたり、本号および本誌45巻12号を通読してみた。内視鏡像、肉眼標本像のみを追っていても何となく特殊型胃癌のイメージが湧いてくる。特に45巻12号の二村論文「特殊型胃癌の病理学的特徴」は大変勉強になった。ぜひ読み直してみることをお勧めする。

さて、私事ではあるが、本年3月末日をもって本誌編集委員の定年を迎えた。1998年から二十余年、どれほど貢献できたかは定かでないが、諸先輩方の築いた金字塔を情熱を持って継承してきたつもりである。これまで叱咤激励し支えてくださった諸先輩方、関係者各位に御礼申し上げるとともに次世代の先生方のご活躍により「胃と腸」誌がさらに発展することを祈念する。